

令和2年度 12月定例教育委員会会議における協議事項について

協議事項(1)「奈良市の目指す教育について

～次期奈良市教育振興基本計画(案)について～

◆ 協議概要

これまでの協議の指摘を反映した「教育振興基本計画(案)」を作成し、施策の概要と各課の施策について4つの施策をピックアップして協議を行った。

◆ 発言概要

- 構成がこれでよいか。今後5年間を見据え、ICTをどう活用していくかがベースとなるのではないか。ICTの活用はもっと広い方針として入っていくべきではないか。
- 施策が並んでいるが、子どもたちにどのような力をつけていくのか、新しい取組をどう生かしていくのかが見えづらい。今までのものに、新しいものを足していったところで終わっている。組立なおしの作業が必要である。
- 探究学習・ICTを活用した学習をメインに出したいということを強調してもよい。それが施策や基本方針の柱となって、ArtsSTEMや世界遺産学習などのベースになる。
- 校務におけるICT環境について、子どもたちの学びの状況をフィードバックするのが「校務におけるICT環境」だとするのであれば違和感はない。校務系システム、教育系システムがセキュリティの関係上分離しているが、先生方だけで校務系の中で子どもたちの学びの状況を共有していくところと、先生と子どもたちで学びの状況を共有していくことを整理する必要がある。
- 先生方が学びについてどのような課題と考えているのか、アンケート調査結果を引っ張り出しメッセージとすると、先生方が課題を認識できるプロセスとなる。
- 授業改善という視点でICTを活用するメリットがある。
- ICTにおいては、各課だけで行っていたのでは難しく、プロジェクトチームなどで全体をとりまとめて整理し、各課に落とし込んでいくという形が良いのではないか。
- ICTについては、今年度の成果と課題を把握して、その上で奈良市のICT活用の計画があることが望ましい。
- 教員の研鑽について、教科の目的を果たすため、ICTをどのような教科、単元でどう活用するか、すべての年代の教員がそれぞれのスキルを出し合っの研鑽が必要。